

職員が大津波想定訓練 住民避難の初動体制を確認

9月28日、大津波被害を想定した役場職員の防災訓練が行われ、住民避難完了までの初動体制を確認しました。

午後9時に震度4の地震が発生し、大津波警報が発表されたという想定で、自宅に見立てて待機していた議場から、職員が、広報車での避難の周知始め、要援護者への避難の呼びかけ、避難所開設などの準備に向かいました。

設置された災害対策本部には、現場から避難対応等の状況が、無線により伝達され、これに的確な指示が出されました。

最大クラスの津波の洞爺湖町の第1波到達時間が79分とされており、今回は避難完了時間を60分に想定しました。

真屋町長は「住民を守るのが職員の務め、自覚をもって行動してほしい」と職員を鼓舞しました。



職員による大津波想定訓練

津波浸水予測図

平成24年6月28日発表



沿岸部の色が濃い部分は、津波浸水が予測される範囲です。全戸配布を予定しているハザードマップでは、この範囲をカラーで示します。